

Library Mate

オーストリア国立図書館小案内

美学美術史学科助教授 大原まゆみ

オーストリアの首都ウィーンには大きな公立図書館が集中している。低地オーストリア州中央図書館、ウィーン大学などの大学図書館、各修道院の図書館、市民の日常の利用と直結した地域図書館等々だが、最大かつ最も価値ある施設は、もちろん旧宮廷図書館を前身とするオーストリア国立図書館である。

国立図書館はウィーン市の中心部、旧宮城とともに隣接する建物に広がっている。リング通りを挟んで美術史美術館の反対側、英雄広場に面した大きな建物がゼンパー設計による新しい棟で、ここに主カタログ室（全蔵書には対応していない）、大閲覧室（比較的最近の印刷本を扱っているが、自然科学関係の収集はウィーン大学およびウィーン工科大学に譲り、文科系中心）、地下のマイクロフィルム、大型本および新聞閲覧室がある。利用者カードの発行やウィーンの公的機関にない書物の取り寄せ手続きもここで行なわれる。またリング側の一角に美術史家や歴史家には便利な肖像および図像資料の部屋がある。この棟には美術史美術館の特殊部門いくつかも同居している。

そこから九十度折れたヨーゼフ広場に面した一角が、遅めに盛期を迎えたオーストリア・バロック時代に建設された本来の宮廷図書館の棟である。ハプスブルク家の書物収集は活版印刷が始まる以前の十四世紀に遡り、自ら著作に携わった「最後の騎士」マクシミリアン一世、特異な知識人として知られるルードルフ二世など歴代の大公・皇帝の蔵書を核に、購入や交換、



移管でヨーロッパ有数のコレクションを築いたが、公開の宮廷図書館として整備されたのは十八世紀前半のカール六世の時代である。ダニエル・グランによる寓意的天井画を戴くブルンケザールは、閲覧室としては使用されなくなって久しく、現在では歴史的美術空間あるいは折々の展覧会の会場として有料で公開されている。昨年末に図書館の火事という中世的な悲劇を危うく起こしかけて世界中に報道されたのはこの棟だが、幸いにして大事に至らず、公開は再開されている。

丁寧な扱いを要する古い印刷本（ハプスブルクのコレクションの中核）、手写本（「ウィーン創世記」、「道德聖書」、「ヴェンツェル聖書」、ルネ・ダンジョンの「囚われし恋心の書」等、著名な挿絵入り稿本あり）およびインクナーベル、地図・地誌関係に対しては、隣接する旧アウグスティノ会修道院の棟にそれぞれ独立した閲覧室がある。また少し離れたアルベルティナーに、パピルス文書と並んで楽譜など音楽関係、ミヒャエル広場側に演劇関係の個別部門があるのは、いかにもオーストリア的と言えよう。

特定部門では専門的な司書が常時質問に応じてくれる。便宜を受けるには、司書と友達になるのが一番である。部門・季節によって閲覧日・時間が異なり、九月は一日から三週間閉館されるので、短期の訪問の際には注意を要す。

調理学について

食物学科助教授 四 宮 陽 子

実践女子大学に赴任して4年目に入りました。やっと最上級生になったという感じでしょうか。(そうは見えないという声あり。) 私は食物学科の調理学という分野を担当していますが、私の赴任と食物学科のカリキュラムの大変更の時期が重なったこともあり、皆さんと一緒に調理学について随分勉強し直しました。調理学といっても「お料理の勉強?」としかイメージのわからない人も多いと思いますので、少し紹介させていただきます。

調理学とは

例えば魚を焼くとします。魚をどの様にさばいて串を打って塩をして、どのくらいの火加減で焼くか、という手順を教えることも調理学だと思います。しかしこれだけ聞いて実際に魚を焼こうとしても、なかなか上手には焼けません。それには「魚」の性質や「焼く」という操作について、もう少し知識があったほうがやりやすいのです。

魚を上手に焼くと外側は適度に香ばしく、中までふっくらと焼けますが、失敗すると魚の肉汁が出きてしまい、パサパサで味も何も分からなくなってしまうことがあります。(こんな魚ばかり食べさせられて嫌いになった人も多いのでは?)

どうすればふっくらと焼け、どんな時にパサパサになるのでしょうか。

この疑問を解くためには魚の蛋白質の熱変性について少し勉強する必要があります。(熱変性って何かな?) 焼く前に塩をする、何て言うことも味付けはもちろんですが、蛋白質の熱変性とも関係があるのです。

魚のことだけではなく焼き方についても、例えば直火で焼く場合の熱の伝わり方、伝導、対流、放射、についても少し知っておいたほうが便利でしょう。

こんな風に、調理をする時に知っておくと便利な科学的な知識を整理して提供することは、調理学の大きな役割だと思います。調理学は台所から発達した科学ですが、台所だからといっ

て馬鹿にしてはいけません。台所は我々が生活をする中で、一番いろいろな装置がそろっている所なのです。なにしろ「火」があり、「水」があり、そして「刃物」まであるのですから。

さて、調理学にはもう一つ大きなテーマがあります。それは、作ったものをおいしく食べてもらうことです。

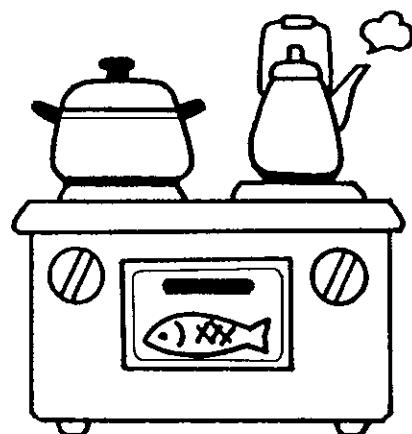
おいしく食べる

食べて「ああ、おいしかった。」と満足することは、とても幸せなことです。

ではおいしく食べるためには何が必要でしょう。食べ物(もちろん)、健康な体、健康な食欲、雰囲気、食習慣にあってはいる、……まだいろいろあります。また健康でない人はいつもまずい食事をしなければならない、では困るとも思うのです。この様に「おいしく食べる」ことにはいろいろな要因が複雑に関係しているのですが、我々が感じる「おいしい」という感覚に対してこれらの要因がどのように影響しているかは、まだまだわからないことが多いのです。

このほかにも食文化や伝統料理の研究など、いろいろなテーマがあります。

さあ、調理学について興味がわいた方は、図書館へどうぞ!





魯迅作・竹内好訳

「阿Q正伝・狂人日記」 岩波文庫 1955年

短期大学国文学科専任講師 高瀬真理子

作家の創作動機は必ずしも高邁な意志から生まれているとは限らない。ドストエフスキイは賭博のために小説を書いたといわれている。また、作家の意志がそのまま作品に反映するとも限らない。しばしば、作品は作家の意志を裏切るからである。

「阿Q正伝」は辛亥革命から10年後の1921年に発表されている。ちなみに、4年後の1924年には第1次国共合作が成立している。魯迅は辛亥革命が失敗したのは、革命思想が大衆をつかまえなかつたからであるという経験から、大衆の意識革命の必要性を痛感し、「阿Q正伝」を執筆したと言われている。阿Qは姓も名もわからない。どこの出身なのかもわからない。土地廟の中に住み着いている日傭い労務者であり、全くの無産者である。加えて、疥癬のあとが禿げ頭になっていることもあって、人々から軽蔑され、意味もなく殴られることが多かった。そんなとき、阿Qは「体にやられたようなものだ」とか「われこそ自分を軽蔑できる第一人者なり」とか「君子は口は出ますが手は出さず」というように考え、決して敗北を認めなかった。魯迅はこうした「敗北の勝利」を自慰的に享楽している阿Qの姿に、大衆の植民地的奴隸根性を読み取っている。

一方、阿Qを取り巻く人々の姿も面白く描かれている。阿Qが土地の資産家の趙家チヤオと同族であると吹聴すると、人々は敬意を払うようになる。また、趙家の女中に手を出したことがわかると女は逃げまどい、酒屋の掛け売りもなくなり、働き口も奪われてしまう。阿Qは、やむを得ず街を出て「城内」の名士の家で働き、やがて新しい品物と現金を溜め込んで帰って来る。すると、人々は敬意を表し、特に女たちは、品物を求めて阿Qの周りに近づいてくる。

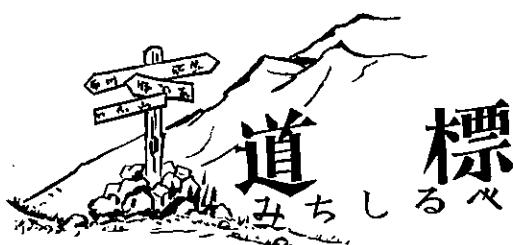
ところが、ある女の誣告により、直ちに地保チイサキによって品物を没収され、再び無能な無

産者として軽蔑されるようになる。阿Qは「革命党というのは謀反だ、謀反は自分にぐあいの悪いものだ」という意見をもっていたが、人々が革命党に縮み上がるのを見て、「謀反だ、謀反だ」と叫んでしまう。すると、人々はにわかに阿Qを畏敬するようになるが、不幸にも体制化した革命党によって物品強盗の「謀反人」の科で裁かれ、ついに銃殺されてしまう。

魯迅は「自序」の中で、愚弱な国民性は「くだらない見せしめの材料とその見物人になるだけだ」と言い、「かれらの精神を改造すること」の必要性を説いている。「阿Q正伝」は「長いものには巻かれよ」式の封建的、植民地的奴隸根性を鋭く暴いた。阿Qも人々もただ新旧の力のバランスの中で「寄らば大樹の蔭」を求めて無目的にさまよっている。魯迅はそうした大衆の愚弱さと、己の愚弱さを告発している。

しかし、大衆批判や大衆啓蒙だけならば「阿Q正伝」は世界文学の傑作として時代を超えて読み継がれることはないだろう。いわゆる思想小説や風俗小説は時代と共に消滅してしまうからである。したがって、「阿Q正伝」の本当の魅力は、大衆批判や大衆啓蒙とは別に、大衆への信頼と大衆への希望が託されているところにある。阿Qは奴隸根性をもった目立ちたがり屋の軽薄な男である。その論理も行動も幼稚で、他人を納得させることはできない。しかし、何と明るく楽天的ではないか。確かに、死が眼前に迫ってきたとき、歴史の闇に葬り去られることに恐怖を感じ、万感の悔悟を覚えている。しかし、この悔悟があればこそ、第2の阿Qが再び生まれ代わって登場し、それは第3の阿Qへと受け継がれていくことだろう。

魯迅は大衆の愚弱さを暴きながら、逆に大衆のしたたかな意志に気圧されている。作家が時代に立ち向かうということ、人間が生活を生きるということの眞の意味を考えさせられる。



雑誌・紀要の探し方 2-1 大学図書館編

1. 雜誌記事索引

大学図書館の地下1階雑誌架左側に「雑誌記事索引」があります。これは、国立国会図書館が受け入れた学術雑誌や大学刊行の研究紀要を収録対象としており、学術論文や研究報告などの文献を探すための資料です。

「雑誌記事索引」は、人文・社会編、科学技術編からなっています。

(1) 雜誌記事索引 人文・社会編 1948~

国立国会図書館編集・発行、季刊。

人文・社会編は、人文・社会科学関係の論文、研究報告、資料など約3,400誌を採録対象として、毎年約54,000件の記事を収録しています。

本編は、政治・行政編、法律編、経済編、産業編、社会編、労働編、教育・文化編、哲学・宗教編、歴史・地理編、文学・語学編、芸術・芸能・スポーツ編等の11編からなっています。

また、これには、1948年から1984年までを6期に分けた累積版があります。(日外アソシエツク編集・発行)

(2) 雜誌記事索引 科学技術編 1965~

国立国会図書館編集・発行、季刊。

科学技術編は、自然科学篇を改題したものであり、科学技術関係の論文、研究報告、資料など約3,100誌を採録対象として、毎年約53,000件の記事を収録しています。

構成は、人文・社会編と同様に、主題分野による検索のための本編、著作記事の検索のための著者索引、個人の伝記および団体の歴史に関する記事の検索のための件名索引、及び収録誌名一覧からなっています。

(3) 雜誌記事索引 医学・薬学編 1979~1983

本編は、1979年に科学技術編の医学・薬学分野から独立して、1983年まで刊行されました。1984年より再び科学技術編に加えられ現在に至

っています。

2. 雜誌記事索引を使ってみましょう

「雑誌記事索引」(人文・社会編)累積版 1980-1984」の文学・語学編〈上〉を使って「源氏物語」についての記事を探してみます。

主題索引目次の“日本文学—平安時代”的「源氏物語」を見ると、146とあります^(例1)。その146ページには、「源氏物語」についての各記事が、論題、著者名、雑誌名、巻号、発行年月、所収頁、記事番号の順に記載されています^(例2)。

また、著者からも記事が探せる「著者索引」も使ってみましょう。

3. その他の雑誌記事索引・文献目録

次に日常よく使われる雑誌記事索引及び文献目録について紹介します。

(1) 科学技術文献速報

日本科学技術情報センター編集・発行。

本書は、科学技術に関する学術雑誌、学会誌や報文集から年間約87万件に及ぶ記事を収録しています。

12編からなっているもののうち、当館では「化学・化学工業編(国内編)」、「同(外国編)」、「ライフサイエンス編」を所蔵しています。

(2) 大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録

大宅壮一文庫が所蔵する大衆誌や週刊誌、約7,500種類30万冊のうち、明治から1988年までの記事を人名編、件名編に分けて収録した索引です。

(3) 服飾文献目録 67/88

高橋晴子／大丸弘共編 日外アソシエツク発行

1967年から1988年にかけて発行された服飾関係分野の雑誌記事の文献目録です。

採録対象範囲は、服飾関連分野全般で、対象誌数は、学術雑誌約1,300誌、商業雑誌300誌、収録件数は31,375件です。

(4) Joint 月刊雑誌記事索引 1979~

経済文献研究会編集 日外アソシエツク発行

本書は、昭和54年(1979年)に創刊された経済・産業関係の雑誌記事索引です。

当館では、第2巻から第6巻(1980~1984)の5年間の記事を累積した、「Joint 累積版経済産業誌記事索引 80/84」を所蔵しています。

なお、これらの索引や文献目録を初めて利用する時は、利用のしかたが書かれてある「凡例」

や「例言」を必ず読んで下さい。

※その他にも各主題ごとの便利な「雑誌記事

索引」があります。

どうぞ、活用して下さい。

(例 1)

主題索引目次

日本文学——平安時代.....	130
日記・隨筆.....	140
●「源氏物語」.....	146
●●(諸本・別本・翻訳).....	151
●●(注釈書・絵巻).....	152
●●研究史・研究法.....	153
●●作中人物.....	153
●●詩 歌.....	155

(例 2)

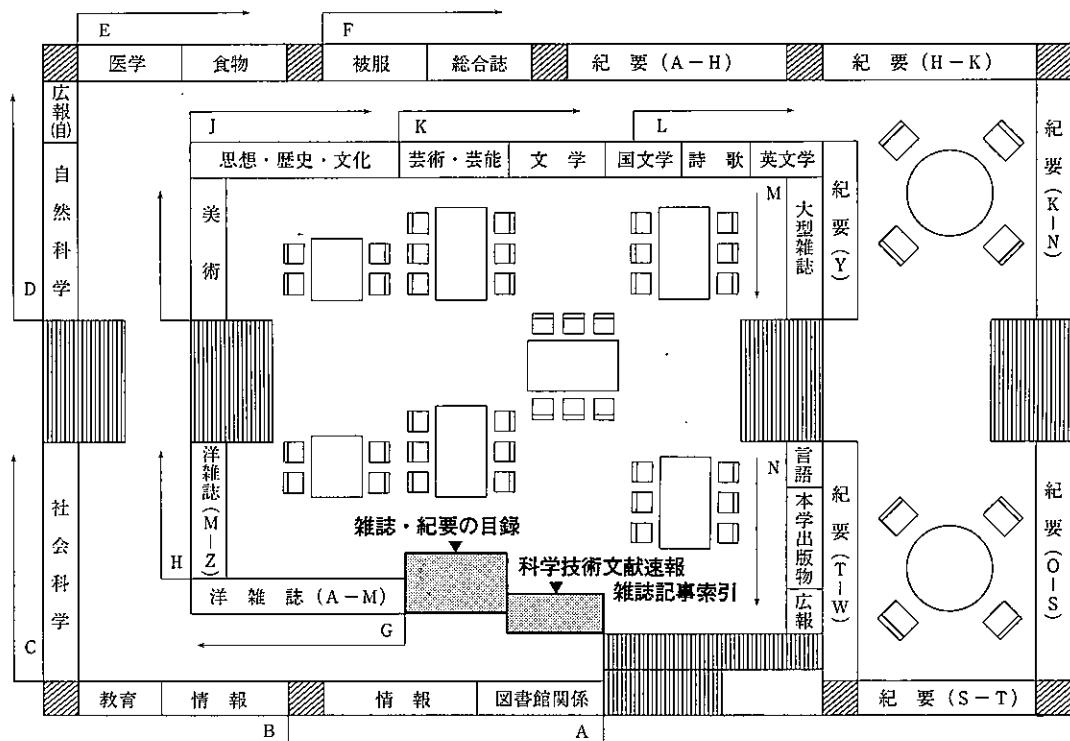


● 「源氏物語」

インディアナ大学の源氏物語学会（小西 甚一）：国文学 解釈と教材の研究 27(15)〔'82.11〕p170~175 [006402]

宇治十帖の基底——大君・中君・浮舟の生き方をめぐって（斎藤 正昭）：文芸研究(日本文芸研究会)107〔'84.9〕p21~30 [006403]

大学図書館 B 1 雜誌・紀要配置図



ブック・ストック

—蔵書ガイド—

下田歌子関係資料 2

下田歌子差出書簡

下田資料は特殊コレクションとして収集しているもので、本学筆頭の資料群である。学祖下田歌子の諸資料は『下田歌子関係資料総目録』(実践女子大学図書館編 昭和55年刊)（以下、総目録という）に収録されているが、その後に収集した資料の一部については、本誌第2号に紹介しているので参照してほしい。

今回は、総目録のうち、書簡についての事項を概観し利用の便に資することにした。書簡は下田歌子が差出したものと、下田歌子に宛てられたものに分けることができる。下田歌子差出書簡196通・下田歌子宛書簡146通が書簡の大分である。ここでの書簡には、写真による複製や名刺に書かれたもの、一枚物の料紙なども含まれている。このうち差出分について、人名、数量、略歴を掲げて参考に供することにした。

下田猛雄宛 4通 伊予の丸亀の人で、京極氏の藩士、民谷流の剣客。後に歌子の夫となる。全て宮中から猛雄に宛てられたもので、明治10年ごろの差しである。この時すでに猛雄は胃を患っていたことが知られる。

平尾錆藏宛 5通 歌子の父、明治15年から29年の書簡で、旅の途上に近況を知らせたりしている。錆藏は文政元年美濃国岩村の生れで、岩村藩士の折に尊皇派に走り幽閉に遭っている。

坂寄みつ子宛 9通 華族女学校の卒業生で歌子の教へ子。実践女学校の設立から歌子を助け、舍監として中国人留学生の世話をし、後に礼法と体操の教師をした。

蜂須賀笛子宛 31通 華族女学校の卒業生で歌子の教え子、後に結婚して松田姓となる。書簡の内容は、病身の笛子に対する気遣いと、詠草添削の返し文が多い。

三島通庸宛 44通 酒田、山形、福島の各県令、内務省局長を経て警視総監を務めた人。歌子と三島の直接的な接点は不明だが、図書を出

版するにあたっての諸般の事情、小学読本への採用に関するこの他、弟錆藏の事業への援助、知人の就職依頼などにふれられている。

谷干城宛 4通 土佐の出身で、明治時代の陸軍軍人・政治家である。中正党の結成、学習院院長、第一次伊藤内閣の農商務大臣、貴族院議員などの要職についた人。谷が学習院院長に就任したのが明治17年、歌子もこの年の7月宮内省に転じ、華族女学校の創設に関わっている。書簡も、華族女学校生徒の洋服着用についての方針、皇后陛下への御進講に関する感想などがみられる。この総目録以外にも、谷家所蔵文書の中から下田書簡1通を写真により収集した。

徳富猪一郎宛 1通 明治・大正・昭和初期の評論家。蘇峰は文筆名で、藍花は弟にあたる。明治20年に民友社を結成し、雑誌「国民の友」を創刊、明治23年「国民新聞」を創刊。進歩的な平民政義の立場に立つジャーナリストだったが日清戦争後は内務省に入り非難を受けたりもした。その理想は皇室中心の国家主義をとるものであった。この総目録以外に、蘇峰記念館から下田差出書簡7通をマイクロフィルムで収集している。

三島弥太郎宛 11通 明治・大正の実業家、三島通庸の長男。横浜正金銀行取締役、日本銀行総裁に就任のほか、貴族院議員になる。政府事業に協力するなど政財界に多くの功績を残している。

以下、詳細な説明はしないが、つぎのように主な書簡がある。

伊藤博文宛	2通	政治家
伊東巳代治宛	2通	官僚政治家
吉井友実宛	8通	枢密顧問官
牧野信顕宛	2通	政治家、外交官
鍋島栄子宛	6通	愛国婦人会理会理事
奥村五百子宛	1通	愛国婦人会創設者
寺内正毅宛	2通	陸軍軍人、政治家
近衛貞子宛	3通	愛国婦人会理事

Library Mail

—収書 ガイド—

短期大学図書館で購入した、視聴覚資料の一部を紹介します。

(館内視聴)

ビデオカセット (VHS)

心理学シリーズ

現代心理学編

発達心理学編

一般心理学編

日本古典芸能体系

源氏物語の世界

人生瓢々 井伏鱒二の世界

おくのほそ道

AIN-SCHUTZEN · ロマン

NHK 特集 地球の危機シリーズ

NHK 特集 守りたい日本の自然シリーズ

小さな恋のメロディ

ダンス・ウィズ・ウルブズ

ひまわり

羊たちの沈黙

インディ・ジョーンズ 魔宮の伝説／最後の聖戦

紅の豚

マレーネ

ミッドナイト・エクスプレス

里見八犬伝

セント・エルモス・ファイアー

七年目の浮気

ショウほど素敵な商売はない

つぐみ

柳生一族の陰謀

ビデオディスク (LD)

NHK サイエンススペシャル ナノスペース

NHK 特集 シルクロード

ヨーロッパの都市と音楽

ファンタジア

南東から来た男

プリティ・ウーマン

トーチソングトリロジー

乱

コンパクトディスク (CD)

地球の詩

シャンソン大全集

(館外貸出)

録音カセット

コレクションフランス語

国際オフィスコミュニケーション

商業英語検定試験

ビデオカセット (著作権処理済)

英語検定

英語検定面接試験合格アプローチ

秘書検定

ワープロ検定

NHK 中国語入門

NHK フランス語入門

NHK ドイツ語講座

文楽鑑賞入門

歌舞伎鑑賞入門

能・狂言鑑賞入門

驚異の小宇宙 人体

知っておきたい料理のマナー

やさしい着付け教室

チャイルド・プレイ 2, 3

インナースペース

J F K

恋におちて

コレクター

尼僧物語

ニュールンベルグ裁判

オリエント急行殺人事件

おしゃれ泥棒

レナードの朝

抵抗のプラハ

ツイン・ピークス

007シリーズ

AV ライブライバーの利用
諸事情により利用が申込制に変わりました
1. カウンターで申込をし、指定されたブースを使用→番号札を渡します
2. 終了したら「END」ボタンを押し、席を立つ→番号札をカウンターに返却

◆◆◆いんふ・おーめーしょん◆◆◆

1993年6月～1993年12月

大学図書館

開館時間

月～金 9:00～18:00 土 9:00～16:00

試験期 9:00～18:45 7/2～7/23の(月～金)

夏休み期間 9:00～16:00

休館日

書庫整理日：月末の火曜日

夏休み期間：7/31 8/7～8/22 8・9

月の土曜日

試験期の貸出

6/26(土)～7/8(木) 3日間貸出

7/9(金)～7/20(火) 1日貸出

夏休み特別貸出

期間：7/21(水)～9/17(金)

返却日：9/27(月)

冊数：大学院生・4年生 10冊

1～3年生・聴講生 } 5冊
短大生 }

卒論貸出

対象者：博士論文作成者・修士論文作成者・

卒業論文作成者

期間：文学部 10/1(金)～10/29(金)

家政学部 11/1(月)～11/29(月)

冊数：10冊

※詳細は、その都度掲示にてお知らせしますので気をつけてください。

集密書庫の出納受付・引渡し時間の変更について

第1回 11:00までに受けたもの

12:00より引渡し

第2回 14:00までに受けたもの

15:00より引渡し

第3回 16:00までに受けたもの

17:00より引渡し

第4回 閉館までに受けたもの

翌日10:00より引渡し

短期大学図書館

開館時間

月～金 9:00～17:00 土 9:00～16:00

試験期 9:00～18:00 6/28～7/23の(月～金)

夏休み期間 9:00～16:00

休館日

書庫整理日：月末の水曜日

夏休み期間：7/31 8/7～8/23 8・9

月の(月)・(土)

試験期の貸出

6/22(火)～26(土) 1週間貸出

6/28(月)～7/3(土) 3日間貸出

7/5(月)～20(火) 1日貸出

夏休み特別貸出

期間：7/21(水)～9/17(金)

返却日：9/27(月)

冊数：図書 5冊

※雑誌／カセットテープ／ビデオについては
掲示でお知らせします。

短大図書館では、児童図書コーナーを設けています。後援会より寄贈を受けた図書で、絵本と童話で250冊ほどになります。2週間の貸出をしますので利用してください。

編集後記

10号から編集委員が1名入れ替り、茂木、浪岡、石川、内藤になりました。Library Mateも先生方のご協力を得て第10号を発行することができました。皆様の意見、希望やアイデアも紙面に反映できればと思います。編集委員までお寄せ下さい。投稿も結構です。

Library Mate 第10号 1993年7月

発行所 実践女子大学図書館
東京都日野市大坂上4-1-1
実践女子短期大学図書館
東京都日野市神明1-13-1

発行責任者 三隅治雄